

でんでんむし

いざというときに備えよう

毎年9月1日は「防災の日」です。また、8月30日から9月5日は毎年防災週間として定められています。日本では地震、津波、高潮、台風、豪雨、洪水、竜巻など、自然災害が多く発生しています。

今年は特に雨がが多く、7月に発生した熱海の土石流、8月の中旬には佐賀県を始め、九州、中国地方の河川で氾濫が起り、街に水が溢れ、大変な被害が出ています。

皆さんの自宅がある西三河地方も2000年や2008年に浸水被害を受けました。

このように、自然災害は他人事ではありません。

いつ起きるか分からない自然災害に、日頃から備えておきましょう。



1. 災害について正しく知ろう！

きちんと備えるためには、まず正しく災害や防災について理解することが大切です。

- 『災害時 障害者のためのサイト 災害別心がけ』

<http://www6.nhk.or.jp/heart-net/special/saigai/index.html?tab=disaster#Main>

※同じページに障害別情報も掲載されています。

- 『スマートフォンアプリ 東京都防災アプリ』

アプリの名前に東京都とありますが、住んでいる場所に関係なく役に立つ、防災に関する知識や情報がまとめられているアプリです。読み物だけでなく、クイズもあります。



↑
アプリのマーク

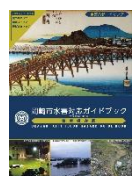


2. 住んでいる地域から発信されている情報を活用しよう！

各市町から、実際に災害が起きたときにどの地域がどのくらいの被害を受けるかの予測を示すハザードマップが示されています。また、防災に関するガイドブックの配布や、実際に災害が起きたとき、登録者にメールで知らせてくれるメールサービスを運用している市町もあります。

ぜひ一度自分が住んでいる市町からの情報を確認してみてください。

【岡崎市が配布しているガイドブック】→



3. もしもの避難に備えよう！

過去の災害時における聴覚障害者の方の被災状況を調べてみると、災害情報が入手できず避難が遅れたり、避難所で必要な情報や指示が得られず困ったりしたという経験が多く寄せられています。もしものときに必要な情報が得られるよう、今からできる準備をしましょう。

○補聴器や人工内耳、スマートフォンなど自分が情報を得るために必要なものは、常に身近な場所にお置いておきましょう。

○スマートフォンは情報を得るためにとても役に立つものですが、災害のときはスマートフォンも通信ができなくなるかもしれません。そうなった場合にどのようにして情報を得るのか、別の手段も複数考えておきましょう。

○避難を呼びかける指示、警報、サイレンがあった場合は個別に知らせてもらえるよう周囲の人や近所の人に依頼しておきましょう。また、避難所などでは、情報から孤立したり、必要な支援情報から乗り遅れたりすることがあるので、どのような配慮が必要か説明できるようにしておきましょう。

○非常持ち出し袋に加えておいた方がよい物は以下のとおりです。

補聴器や人工内耳の予備の電池、筆談用具、助けを呼ぶ笛やブザー、障害者手帳、必要な支援や配慮をまとめたヘルプカードなど。



◇参考◇

『災害時 障害者のためのサイト 障害別情報』

「1. 災害について正しく知ろう」の項目に掲載した URL と同一の URL からアクセスできます。詳細に書かれていますので、ぜひ読んでみてください。

7月号でお知らせした、補聴器購入費の助成制度について(追加情報)

7月号では、市町によって身体障害者手帳の交付対象とならない 18歳以下の軽・中等度難聴児に対して補聴器購入助成制度があることをお知らせしました。

岡崎市以外の市町についても調べたところ、皆さんが住んでいる市町は全て助成を受けられることが分かりましたので、お知らせします。

しかし、助成に必要な意見書の用紙については、各市町で様式が異なり、用紙の受け取り方法も市町のホームページからダウンロードできる場合と、直接取りに行く場合とで方法が異なりますので、詳細については市町のホームページを確認していただくか、障害福祉課にお問い合わせください。

【10月・11月の補聴器相談日】 ※ 場所: 作法室 時間: 13:45～15:45

	10/4	10/18	11/15
理研産業		○	○
岡崎ヒヤリング	○		○
ナショナル補聴器		○	○
あいち補聴器		○	○

9月6日の補聴器相談は緊急事態宣言発出のため中止となりました。何かありましたら各自で補聴器販売店まで行っていただきますようお願いいたします。次回は10月4日の予定です。